

① JT

- ⇒ 10日の東京株式市場で日本たばこ産業(JT)株が急落した
- ⇒ 終値は160円50銭(7%)安の1990円50銭だった
- ⇒ 前日の取引終了後に2021年12月期の年間配当を前期比24円減の130円にすると発表
- ⇒ 1994年の上場以来初の減配で海外投資家の売りがかさんだ
- ⇒ 19年12月期まで16期連続で増配してきただけに「減配は想定外」(国内証券のアナリスト)との声が聞かれた
- ⇒ 同社の配当利回りは10日時点でなお6.5%と東証1部で4番目の高さ
- ⇒ 「JTが新たに目安とする配当性向75%は個人にとってはやはり魅力的。失望売りが一巡すればまた資金が戻ってくる」(松井証券)
- ⇒ 「配当狙いの個人投資家がネガティブサプライズで売りを急いだのではないか」(岩井コスモ証券)
- ⇒ 何人かの動画視聴者の方から、JTを買ったほうが良いのか?という質問をいただいておりますが、今回のように配当は流動的に変化するものだとことを含めて、あくまでも「教材」としてJTを取り上げているだけですのでお間違えのないように
- ⇒ ちなみに、15,000人の社員の2割にあたる3000人を削減するという事は、相当厳しい状況にあると思われます
- ⇒ 2021年12月期の純利益予想が前期比▲23%の2400億円になる見通しです
- ⇒ 配当が業績に連動すると考えれば、来期は再度130円→100円のように▲23%となる可能性が高いと考えられます
- ⇒ もちろん私個人はJTを購入しておりません
- ⇒ 日本株式は現状、まだ極めて割高だと思います

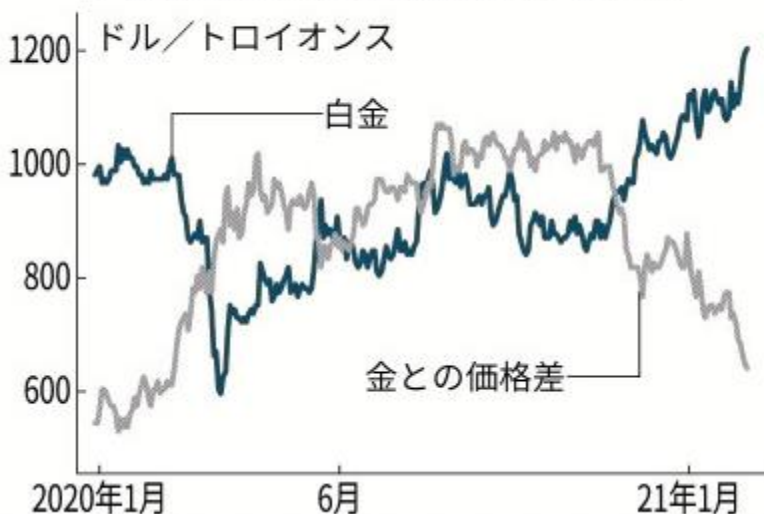
【JT:3年】



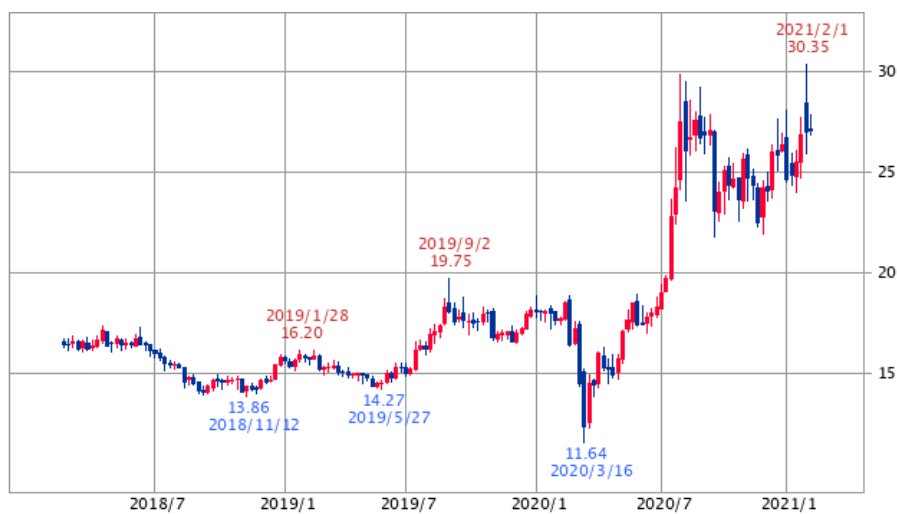
② 銀 & プラチナ

- ⇒ ドル建てプラチナ価格が 1253ドルと 6 年ぶりの高値を更新
- ⇒ 南アフリカの産出減少などを受け 20 年の白金供給が 2 年連続で需要を下回り需給が引き締まっている
- ⇒ 英精錬大手のジョンソン・マッセイ(JM)が 10 日公表した最新の需給報告によると、白金市場の需給バランスは 20 年に 12.1トンの供給不足となった。不足幅は 14 年以來 6 年ぶり
- ⇒ 地金や上場投資信託(ETF)など投資需要は 28 トンと過去最高水準だった 19 年は下回ったものの 20 年も旺盛だった
- ⇒ 円建ての白金価格が一時約 17 年ぶり安値を付けたことが金と比べた割安感を呼び、日本の投資需要は 4 年ぶりの高水準となった
- ⇒ 昨年 7 月に「フランスプラチナコイン」を動画にてご案内しましたが、当時のドル建てプラチナ価格は 900ドル前後でした
- ⇒ ドル建てプラチナ価格は、半年強で約 40%の値上がりとなっています
- ⇒ 「フランスプラチナコイン」はそのままプラチナの価格と連動するわけではありませんが、希少性も相まって同期間に 40%を大きく上回る値上がりとなっています
- ⇒ また、ドル建て銀価格も昨年 6 月と比べますと約 50%の上昇となっています
- ⇒ 一方で、ドル建て金価格は昨年 7 月の水準まで下落してきました
- ⇒ 時価総額の大きな金から時価総額の小さなプラチナや銀にマネーがシフトしていることがお分かりいただけると思います
- ⇒ ここ3ヶ月ほど銀貨のお話を動画でもしておりますが、アンティークコインも「金貨・プラチナコイン・銀貨」にぜひ分散していただければと思います

白金は金との差が縮まっている



【ドル建て銀:3年】



【ドル建てプラチナ:3年】



【ドル建て金価格:3年】



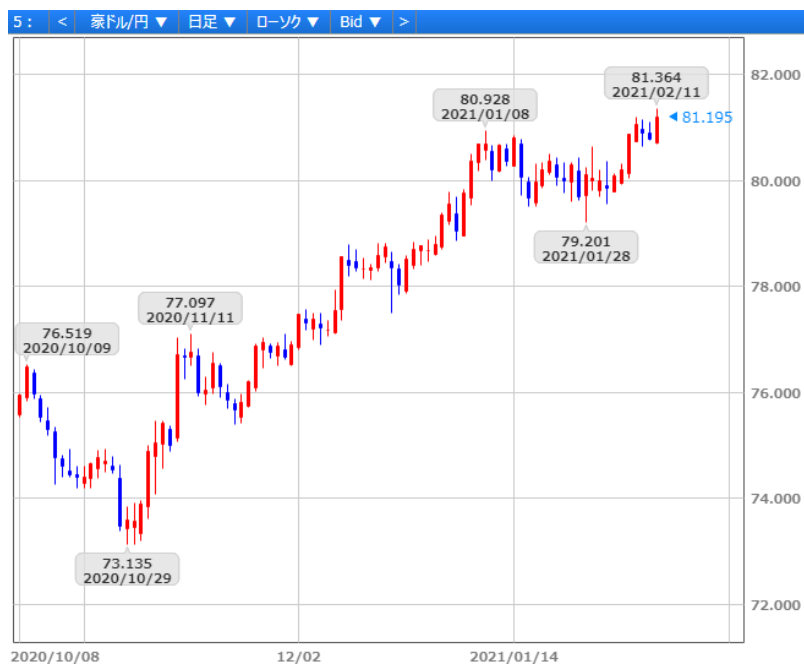
③ 豪ドル & ユーロ

⇒ 1 豪ドル=81.36 円と高値を更新

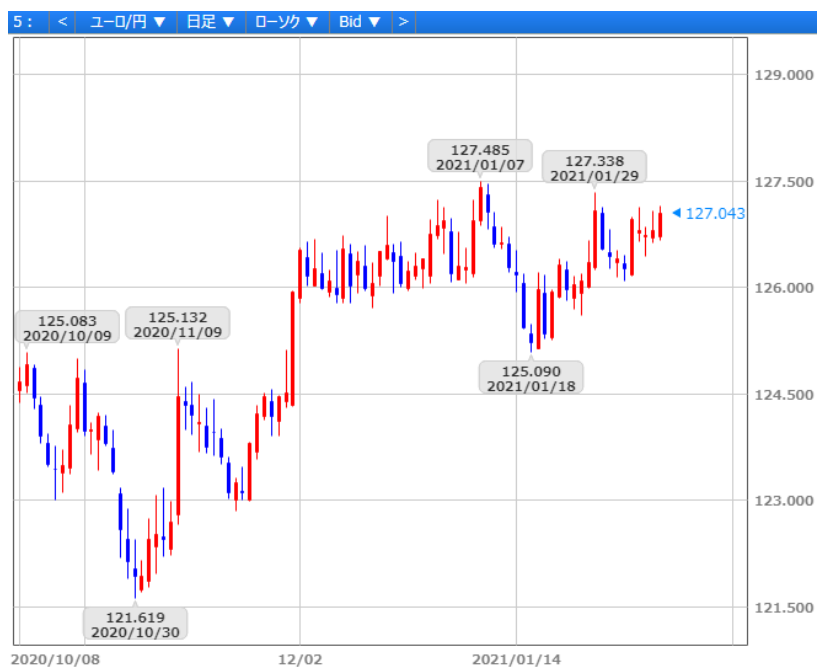
⇒ 今年はやはり 90 円を目指す展開だと思います

⇒ ユーロも近々127.48 円という高値を更新するのではないのでしょうか

【豪ドル／円：日足】



【ユーロ／円：日足】



④ テスラ & ビットコイン

- ⇒ テスラの株価が正念場となっています
- ⇒ 1月29日の安値 780ドルを下回ると大きく下落する可能性が高いと思います
- ⇒ 18日の米公聴会を不安視しているように見受けられます
- ⇒ 一方のビットコインは続伸していますが、値動きの荒さが気になります

【テスラ:6ヶ月】



【ビットコイン:日足】

